新会館建設への想い

自分の足で新会館へ

段野和茂（大東市）

いよいよ旧保険医会館の解体が始まっているらしい。昔、初めて保険医会館に入った時、２階から降りる階段で、頭上が急に低くなって少し恐怖を感じたことを改めて思い出す。でもこのようなノスタルジーは新会館への希望が消し去ってしまうかもしれない。

新会館では、先生方が気軽に立ち寄れる交流の場、または研修の場など、医科歯科の先生方が集える場所になることを望んでいる。まずは毎日働く職場として、事務局の人々が使いやすく動線の良い環境が必要だ。会員をサポートしてくれる事務局が気持ちよく働ける環境を望んでいる。

私も自分の足で新会館に足を踏み入れることができるよう身体を維持することを目標に、毎日のワークアウトをしている。そこには私の目標とする人がいる。私よりもずっと若い人だが、ダンスメニューなどもずっと上手で、またワークアウトもしっかりこなしている。その方を目標に新会館完成の日に自分の足で踏み入れることを夢見ている。

追い詰められてばかりはあかん

戸井逸美（豊中市）

なんばに新しい保険医会館ができる。みんなで何年も頭を捻りながらここまできた。どんな役割を果たしてくれるのか、いや魂を入れるのは私で、その力を発揮していくためのエネルギーを与えてほしい。

社会保障、歯科保険医運動の前進のためには追い詰められてばかりではあかん。ここは束になっていかないと。歯科についての発信に留まらず、しっかりと政治に向き合って、平和、民主主義運動の拠点として、大阪のシンボルとしても担っていってほしい。諸先輩方の保険医運動や新会館への大きな希望や意志をしかと受け止めたい。

全国の保険医協会でも存在は大きくなるだろう。中味をともなって目標になれるように、という己も歳を重ねて古希遠くになりにけり。

新しい会館！嬉しい！健康長寿を目標に、新会館での侃々諤々の場に少しでも加わっていきたいと願っている。

追悼

会員・上田秀人氏を偲ぶ

多くの読者に愛された歯科医師

新聞部長・矢部あづさ

歯科医師であり協会員でもあった、時代小説家の上田秀人（うえだひでと）氏が3月27日、帰らぬ人となった。上田氏を偲ぶにあたり、その功績や人柄に改めて思いを馳せると、多くの読者に愛された作家としての存在の大きさを痛感します。

１９６０年に大阪で生まれ、歯科医師としての道を歩みながらも、１９９７年に『身代わり吉右衛門』で小説家デビューを果たし、以後、第16回中山義秀文学賞を受賞。時代小説の名手として数多くの作品を世に送り出しました。特に「勘定吟味役異聞」シリーズや「御広敷用人大奥記録」など、幕府の裏面史を描きつつも、義理と人情、正義と権力とのせめぎ合いを鮮やかに描く筆致は、多くのファンを魅了してきました。

上田氏の作品は、決して派手すぎず、登場人物たちの心の葛藤や矜持、そしてその中で選び取る行動には現代にも通じる深いテーマが込められており、時代小説の枠を超えて読む者の心に訴えるものがありました。上田氏の筆はもう動くことはありませんが、その物語は、これからも語り継がれ、読み継がれていくでしょう。

深い感謝と敬意を込めて、ご冥福をお祈りいたします。

声明を送付

学術会議「解体」法案に抗議

協会は、4月30日付で政府・関係各所宛に抗議声明「学術会議『解体』法案に断固抗議する」を送付した。概要を紹介する。

4月18日、「日本学術会議法の一部改正案」（いわゆる学術会議解体法案）が衆院で審議入りした。

本法案は、同会議の「独立して職務を行う」との規定を削除し、内閣府の所掌事務とすることで、学問の自由と自律性を脅かす重大な制度改変である。政府や第三者による運営・財務への関与も可能とし国家の意向に沿った研究を強いる体制への一歩となる。

日本学術会議は、第二次世界大戦の深い反省に基づき設立された。政府から独立した立場で、学問の自由と平和の維持に貢献してきた。その役割は今日においても重要である。歯科医学を含む多くの学術団体が学術会議に関わり、私たち歯科医師もまた、国民の命と健康を守る立場から学問の自由の尊重とその制度的基盤を重視してきた。

今、防衛費が増額され、軍事研究を促進する制度が拡充される中で、政府による学術会議への関与を拡大することは戦時動員体制への道を再び開くもので、学問の自由を危機にさらす暴挙である。

私たち大阪府歯科保険医協会は、今回の日本学術会議「解体法案」に断固として抗議する。戦争は最大の健康被害であり、平和こそが医療の基盤である。学問の自由を脅かす動きを許さず、その撤回を強く求める。

6年ぶり協同組合まつり

２５００人参加で盛況

大阪府保険医協同組合は4月19日、20日、第42回保険医まつりを天満橋・ＯＭＭビル2階展示場で6年ぶりに開催した。

80社の展示ブースが立ち並ぶ中、歯科関連の特売場ではアウトレット商品の特価販売もあり、グローブやマスク、スタッフのユニフォームなどを手に「この機会に買おうと思っていた」などと紙袋を複数手にする会員の姿もあった。アロマや苔玉づくりの体験コーナーや希少な日本酒と寿司を楽しめるＢＡＲも満員となり順番を待つ家族の様子が見られた。

大勢の参加者でにぎわう様子＝４月20日、ＯＭＭビル

開会にあたり、協同組合の中村厚理事長と医科協会から井上美佐副理事長、歯科協会から吉田裕志副理事長が挨拶に立ち、吉田副理事長は参加した抽選で特等の牛肉が当たったことを紹介し、「ぜひみなさんも楽しんでほしい」と呼びかけた。２日間で延べ２５００人が参加した。

協会行事案内

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。Ｍ＆Ｄホールは保険医会館東隣りです。

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定をご確認ください

【会員・スタッフ対象】第57回定期総会　記念講演

21世紀の歯科医療はどうなる？

日時　6月1日（日）午後3時～5時
場所　ホテルモントレグラスミア大阪・21階（大阪市浪速区湊町1丁目2-3）
講師　粟野秀慈氏（九州歯科大学理事長・学長）
会費　無料　**定員**　１２０人

【市民公開】保険でよい歯科医療を大阪連絡会

歴史ミステリー人類は噛んで進化した―骨から探る人類史―

日時　6月8日（日）午前10時30分～午後0時30分
会場　Ｍ＆Ｄホール、ＷＥＢ併用
講師　馬場悠男氏（国立科学博物館名誉研究員）
会費　無料
定員　会場１１０人、ＷＥＢ１５０人

【市民公開】窓口負担ゼロの会

みんなで語ろう窓口負担ゼロ―お金の心配なく医療にかかれる社会に―

日時　6月8日（日）午後2時～4時30分
場所　兵庫県保険医協会・会議室（神戸市中央区海岸通1-2-31　神戸フコク生命海岸通ビル5階）
会費　無料　**定員**　現地40人
※現地参加の予約は左記電話にて。（℡078-393-1807）
※オンライン参加は事前予約なし。下記ＱＲからご覧ください。

ライブ配信→

【スタッフ対象】

新人スタッフ講座　助手編

日時　6月22日（日）午前10時～午後1時
会場　Ｍ＆Ｄホール
講師　臨床学術部講師団
会費　3千円　**定員**　80人

【スタッフ対象】

新人スタッフ講座　衛生士編

日時　6月22日（日）午前10時～午後1時
会場　協会仮事務所
講師　臨床学術部講師団
会費　5千円　**定員**　30人

専門家による無料相談

税務相談	5月21日(水) 14時～17時（1時間枠）
法律相談	6月2日(月) 14時～16時（30分枠）
雇用相談	6月19日(木) 14時～16時（30分枠）
システム相談	第3土曜日　14時～17時（1時間枠）

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み